

経済の発展を担う高度専門人を名古屋都心で養成する

愛知学院大学大学院 経済学研究科

経済学専攻（修士課程）

2017 年 4 月開設〈仮称・設置構想中〉

グローバル社会の進展により、市場経済のメカニズムは急速に複雑化しています。
本研究科では、より高度化する経済の諸問題への対応が求められる現代社会において、
グローバルな視点を持って地域経済に貢献できる高度専門人を養成します。
講義や研究はすべて、利便性の高い名古屋都心の「名城公園キャンパス」で実施します。

- ◎ **設置概要**
- 修業年限：2 年 開設時期：2017 年 4 月 入学定員：7 名（収容定員 14 名）
学位：修士（経済学） 初年度学納金：990,000 円（予定）
開設場所：愛知学院大学 名城公園キャンパス 愛知県名古屋市北区名城 3-1-1
（地下鉄名城線「名城公園」駅 徒歩 1 分）

- ◎ **入学資格**
- ①大学を卒業した者
 - ②大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者
 - ③外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者
 - ④文部科学大臣の指定した者
 - ⑤本大学院において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

経済学部卒業後の大学院進学生の場合

学部の経済学の知識をベースとして高度な経済学の分析能力を身につけることにより、一般企業の企画部門やシンクタンクの研究員への就職や税理士、国税専門官や高校教員などの専門職業人の道が拓けます。

社会経験を有する社会人の場合

職場で抱えている経済学的なテーマを理論的かつ体系的に整理・発展させ、職場に活用できる機会を提供します。



◎ 設置の目的・養成する人材像

建学の精神「行学一体・報恩感謝」を基盤としながら、経済学を通じた真理探究と豊かな人間形成によって経済の高度な専門知識と問題解決能力を身につけ、現代社会における経済の諸問題に対応できる高度専門人および経済学の研究能力を有する研究者として、グローバル化の中での経済の発展、とりわけ地域経済の発展に貢献できる人材を養成します。

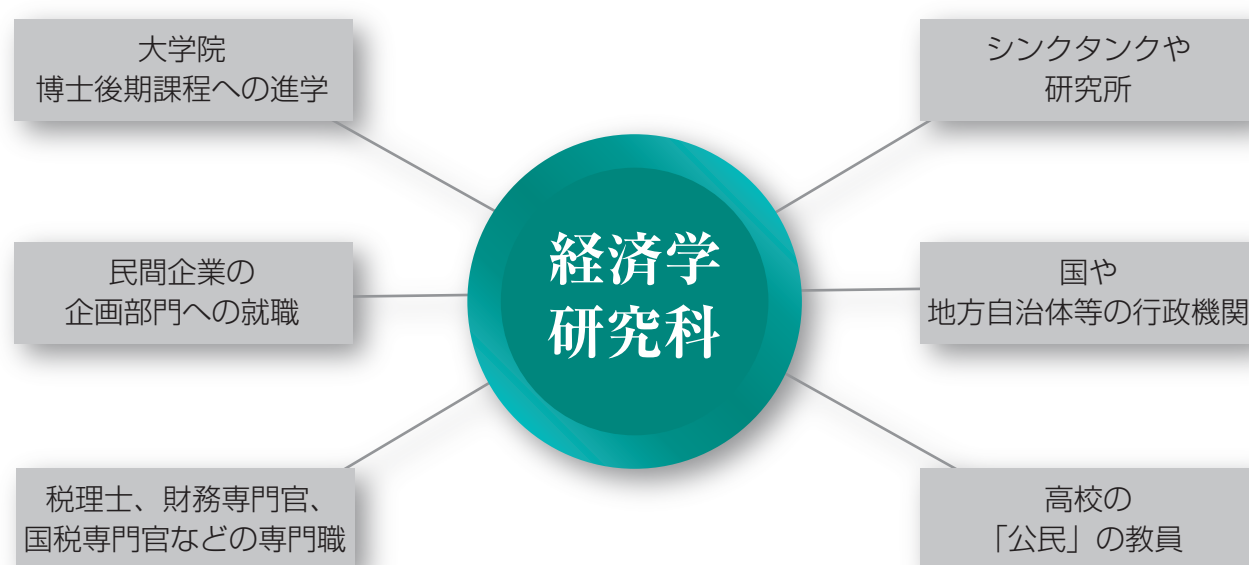
◎ 学びの特色

- ◆充実した国際経済・地域経済関連の科目群
- ◆夜間開講科目の受講のみで修了可能な時間割編成
- ◆標準履修コース（2年間）に加えて、1年間で修了可能な短期履修コースや3年以上かけて修了する長期履修コースを設置
- ◆社会人を対象に修士論文コースと課題探究コースを設定

◎ 開設予定の授業科目

ミクロ経済学、マクロ経済学、経済思想史、日本経済史、西洋経済史、経済政策論、社会政策論、現代財政論、金融論、グローバル金融論、国際経済論、アジア経済発展論、現代日本経済論、労働経済学、環境経済学、農業政策論、地域経済産業論、計量経済分析、経済情報管理論、租税制度論、所得税法、消費税法、法人税法、財務会計論、税務会計論、簿記論、経済学特論、研究演習

◎ 修了後に想定される主な進路



※記載の内容は現在構想中の予定であり、変更される可能性があります。